

フランス語名詞の性 言語学的分析

keyword: 社会, 変化, 規範, 構造, 名詞, 性, 数

<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~fujimura/feminin.html>

1. 性 (genre) の歴史

インドヨーロッパ語

genre animé masculin

féminin

inanimé (= neutre)

animé/inanimé が消え, masculin/féminin が拡大.

ロマンス語, ケルト語, バルト語, アルバニア語: 男・女

スラブ語 (ロシア語, セルビア語, チェコ語, ポーランド語,): animé/inanimé が残っている

ロシア語: 男性単数形と男女の複数形で, 有生か無生かによって対格の形が区別される.

ブルガリア語, マケドニア語: personnel / non-personnel

ブルガリア語:

男性名詞のみ、前に基数詞が来る場合、事物、動物と人間で、形式的に違いがある。

例1. ブルガリアの通貨単位 lev (単数形レフ)の場合

edin lev 1レフ

mnogo levobe たくさんのレヴオベ (普通の複数形 この場合 -obe)

基数詞 pet leva 5レヴァ (数形 -a)

kolko(how many), nyakolko(some), tolkoba(so many) leva

いくつのレヴァ?、いくらかのレヴァなども -a.

男性名詞が事物や動物の場合、男性名詞が2以上の基数詞、kolko(how many), nyakolko(some), tolkoba(so many)などとともに用いられると、普通の複数形とは異なる特別な形、数形が用いられる。数形は人の男性名詞には用いられず、人の場合は、普通の複数形が使われる。

例2. 息子

edin sin 一人の息子

mnogo sinobe たくさんの息子 (普通の複数形 -obe)

pet sinobe 5人の息子 (普通の複数形 -obe)

例3 . 博士、医者

edin doktor 一人の博士

mnogo doktori たくさんの博士 (普通の複数形 -i)

pet doktori 5人の博士 (普通の複数形 -i)

例4 . 馬 (動物なので、レフのように基数詞とともに数形が用いられる。)

edin kon 一頭の馬

mnogo kone たくさんの馬 (普通の複数形 この場合 -e)

pet konya 5頭の馬 (数形 -ya)

以上のような複数形と数形の使い分けは、女性名詞、中性名詞にはない。

(4) デンマーク語

genre commun

masculin

féminin

(non-masculin)

(non-féminin)

genre neutre

(3) ドイツ語, ギリシャ語, アイスランド語

masculin

féminin

(non-masculin)

(non-féminin)

genre neutre

英語: 人称代名詞, 所有形容詞, he/she, his/her

なぜ英語には性がないのか?

宇賀治正朋(2000): 『英語史』、開拓社

<http://www.asahi-net.or.jp/~aw2t-itu/internethigh/oedecline.htm>

古英語

単数 Singular	男性 Masculine	中性 Neuter	女性 Feminine
主格、一格 Nominative, sg	se cyning he	þæt hus hit	seo talu heo
対格、四格 Accusative, sg	þone cyning hine	þæt hus hit	þa tale hi
与格、三格 Dative, sg	þæm cyning him	þæm huse him	þære tale hire
属格、二格 Genitive, sg	þæs cyninges his	þæs huses his	þære tale hire
複数 Plural			
主格、一格 Nominative, pl	þā cyningas hie	þa hus	þa tala
対格、四格 Accusative, pl	þā cyningas hie	þa hus	þa tala
与格、三格 Dative, pl	þæm cyningum him	þæm husum	þæm talum
属格、二格 Genitive, pl	þara cyninga hiera	þara husa	þara tala

中英語 (1100-1500): 性の消失

単数 Singular	男性 Masculine	中性 Neuter	女性 Feminine
主格、一格 Nominative, sg	the king he	the hous it, hit	the tale she, sche
対格、四格 Accusative, sg	the king hine	the hous it, hit	the tale hir, her, hire, here
与格、三格 Dative, sg	the king him	the hous it, hit	the tale hir, her, hire, here
属格、二格 Genitive, sg	the kinges his	the houses his	the tales hir, her, hire, here
複数 Plural			
主格、一格 Nominative, pl	the kinges they	the houses	the tales
対格、四格 Accusative, pl	the kinges hem	the houses	the tales
与格、三格 Dative, pl	the kinges hem	the houses	the tales
属格、二格 Genitive, pl	the kinges hir, her, hire	the houses	the tales

langues à classes (類別詞をもった言語) 日本語, 中国語, タイ語, アメリカインディアン語, アフリカの言語 : 1本、一枚、
 フィン・ウゴール: genre がない. 代名詞にもない. ハンガリー語、フィンランド語
 セム語:

2. フランス語における genre grammatical の歴史

<ラテン語>

男性・女性・中性

活用のタイプ: I: ほとんど女性 -a, II: ほとんど男性-us と中性-um, III: (一番多い) 男性, 女

性，中性（不規則タイプ）

格	fillia 娘	verbum 言葉	murus 壁
単数	主格 filla 娘は	verbum	murus
	属格 fillae 娘の	verbi	muri
	与格 fillae 娘に	verbo	muro
	対格 fillam 娘を	verbum	murum
	奪格 filla 娘によって	verbo	muro
複数	主格 fillae 娘は	verba	muri
	属格 fillarum 娘の	verborum	muronum
	与格 fillis 娘に	verbis	muris
	対格 fillas 娘を	verba	muros
	奪格 fillis 娘によって	verbis	muris

冠詞はない．形容詞は一致する．形容詞には2種類の変化タイプ．bonus (I.II) 型と omnis(III) 型

<俗ラテン語>

名詞

déclinaison の消失： 男性名詞のみに2格体系がのこる

名詞の変化タイプの単純化：男性・女性の二種類の変化タイプに分化

5種類 2種類。

不規則な第3、4、5変化がなくなる。

第5変化名詞（ほとんど女性名詞） 第1

第3、第4変化名詞においては、男性名詞 第2変化、女性名詞 第1変化

格形の単純化：

主格（呼格）と、対格（主格以外の格（被制格または斜格））の2格体系。

のちにすべてが対格形になる。

各ロマンス語の初期の文献において、男性名詞が2格体系であった古フランス語を例外として、名詞は単複それぞれ一つの形でしか現れない。

性の単純化：

男性は-us、女性は -a、中性は -um によって再編成。

後に、語尾子音の s や m が消えて、男性と中性の区別がつかなくなると、

一般の中性名詞 男性名詞、vinum > vinus, factum > factus, caelum > caelus

中性複数の集合名詞 女性単数 folium (sg), folia (pl), castrum (sg), castra (pl) 陣営

li murs	la fille
lo, le mur	la fille
li mur	les filles
les murs	les filles

形態と性

「男性」「女性」「中性」ラテン語、ドイツ語、ロシア語やポーランド語

ロマンス語、「中性」が消失、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語: 「男性」と「女性」、ルーマニア語: 3つ。

デンマーク語では近世になって名詞の「男性」と「女性」の区別が消滅、「両性」「中性」の2つ。

オランダ語でも名詞の「男性」と「女性」が合流して「通性」と「中性」の2つ。

イタリア語やスペイン語、ポルトガル語: o で終わる名詞は基本的に 男性名詞、a で終わる名詞は基本的に女性名詞。スラヴ系の言語も語尾より名詞の性がほぼわかる。

ドイツ語やフランス語:ある程度法則はある。

3. フランス語における職業名詞の女性化- スペイン語との比較-

1.

"Académicos contra señoras ministras. Las carteras ocupadas por mujeres trastornan el idioma en Francia" *El País* (1998/1/11) 「女性大臣に反対するアカデミー会員-女性大臣の就任がフランスにおいて言語を混乱させる」

Planelles (1995)

Rapport sur la féminisation des noms de métier, fonction, grade ou titre (職業、役割、地位、肩書の名称の女性化に関する報告書) : ドイツ語、イタリア語との比較はあってもカスティーリャ語との比較はなされていない。

2. すすんだカスティーリャ語・おくれたフランス語

"La France est l'un des derniers pays où la féminisation des titres fait débat "「フランスは肩書の女性化が論争になる最後の国のひとつである」*Le Monde* (1998/7/7)

Yaguello (1978: 138) : la professeur(e) 「高校以上の教員, 大学教授 [女性]」が公的に認められるようになるは 50 年かかるだろう

1994 年にヨーロッパ議会 (Parliamentary Assembly) は、フランスのフランス語を名指しして、女性化を勧めるよう勧告を行っている (introduce in French the feminist form of titles and names of functions into current language, for instance by extending and implementing the French circular of 11 March 1986 on feminisation of names of professions, functions, grades or titles. (Recommendation 1229))

Que M. Fumaroli, (...) daigne s'intéresser à une langue néo-latine dotée de remarquables capacités d'adaptation tant morphologiques qu'orthographiques : l'espagnol. Là non plus, le genre neutre n'existe pas : et précisément parce qu'il n'existe pas, tous les titres sont féminisés, en conformité avec la grammaire et avec la logique : la decana (la doyenne de faculté), la diputada, la ministra, la presidenta, la senadora, etc. (スペイン語にも中性は存在しない . そうだからこそ , スペイン語では..全ての肩書は女性化され、文法と論理に整合している。la decana(学長)、la diputada 「代議士」、la ministra 「大臣」、la presidenta 「長」、la senadora 「上院議員」など。) *Le Monde* (1998 / 8 /10)

3. フランス語とカスティーリャ語の文法上の性の特徴

統語論的観点・形態論的観点・意味の観点

統語論的観点

名詞は男性か女性かどちらかのグループに属し、グループに共通した統語的な振舞いをする。すなわち。当該の名詞を修飾する冠詞・形容詞、またはそれを受ける代名詞の性の一致の問題である。つまり、テキスト内の「指示」の一貫性にかかわり、テキストの「結束性」(ハリデー, ハサン: 1976) をたかめるために重要な役割を果たす。

形態論的観点

名詞の語形の問題。人間を示す名詞の場合には、「男性」と「女性」で語尾の形態を変えることが多いが、男女同形の名詞も存在する。

カスティーリャ語では、「男性」と「女性」の語尾は、-o/-a の対立となることが多い。

la decana、la diputada、la ministra、la presidenta、la senadora

el decano、el diputado、el ministro、el presidente、el senador

フランス語では、語形は複雑であるが、カスティーリャ語に比べて、男女同音の名詞の割合が高い。: 男女同形: 29%、発音上は同音だが正書法上は異なる: 6%、発音上、男性形の最後に子音が1つ加わるもの: 27.4%、男女の接尾辞が異なるものが 27.6% Khaznadar(2000)

性と数: フランス語の数は柔軟性がある。英語のように加算名詞と不加算名詞がきまっているわけではな

い。

無生名詞

人間を表す名詞

例外：la personne/persona (人)⁵、la victime/victima (犠牲者)

droits de la personne

このグループには、さまざまなタイプのもので存在するが、全体としては少数派にすぎず、フランス語においてさえ、人間を表す名詞の 90 %以上は、指示対象と文法上の性は一致する。

無生物名詞の性の意味：

フランス語：

自動車 (une voiture[女性]・une auto[女性])

エッフェル塔(la Tour Eiffel[女性])：「パリの老婦人 (la vieille dame de Paris)」

凱旋門 (l'Arc du Triumphe[男性])

La vieille dame de Quai Conti

カスティーリャ語：

mierda

1) Eres un mierda. (Adolfo Aristain 監督映画 Martin [hache] (Tornasol fims: 1997)) (このくそやろう[男性])

2) Ese tío es un mierda. (Gutiérrez Cuadrado[SALAMANCA]: 1996: 1029)(そいつはくそやじだ[男性])

カスティーリャ語では、指示対象の性が名詞の性に影響を与えて、文法上の性を変えることがある。フランス語では逆で、文法上の性の力が強く、指示対象は文法上の性にあわせた「性」をもつことになる。

cf. Konishi, Toshi (1993): The Semantics of Grammatical Gender: Cross-Cultural Study, Journal of Pshcholinguiistic Research, Vol22, No5, pp519-534

スペイン語とドイツ語の文法上の性:potency に関する semantic differential scales は connotation の差がある。

ドイツ語：klein-gross, leicht-schwer (軽 重), zart-kraftvoll (柔 - 剛), schwach-stark (弱 強)

スペイン語：débil-fuerte (弱 強), chico-grande, enano-gigante (小 - 大), menor-mayor (小 大)

evaluation と activity については有意差なし。

別の視点：女の職業に進出した男の表し方

フランス語：couturier・couturière「お針子」couturier は「ファッションデザイナー」

カスティーリャ語：modisto/modista「婦人服仕立て屋」

男性形 modisto 「男のファッションデザイナー」

「sage-femme」産婆」の職につく「男」が 80 年代に出現：アカデミー・フランセーズはただちに maïeuticien という立派な男性名詞を作ったが、まったく使われなかった。

cf. ギリシャ語の maieutikè: 子供を産ませる技術。sage-homme sage-femme homme (男産婆) homme sage-femme

4. コミュニケーションの道具としての性

4.1 文法上の性と指示対象の性の一致

カスティーリャ語では、「女」に「女性名詞」

20 世紀前半、男の領域に進出した女たち；la abogada (弁護士)、la catedrático (教授) のように「女性形冠詞 + 男性形名詞」で表現(Campo Alange: 1964: 229) 7。

*現在：la abogada、a catedrática、la diputada、la primera ministra (当時は「女」の強調を避けていた)

3) ...cuando el tribunal de Londonderry condenó a su cliente, la diputado por la circunscripción de Mid-Ulster...

(MUNDO, 1970/1/10) (Mid-Ulster 選出の代議士[女性 + 男性形] である、依頼人を Londonderry 裁判所が有罪判決を下した際、)

4) La actual primer ministro, Indira Gandhi, es también jefe del partido, como sucede en Inglaterra. (*Blanco y Negro*, 1970/4/4) (現首相[女性 + 男性形] インディラ・ガンジーは、イギリスと同様、党首[男性形]でもある。)

5) Entre las dos posturas existe la realista que podría encarnar la abogada María Antonio Lozano:..(*Blanco y Negro*, 19723/4) (弁護士[女性 + 男性形] マリア・アントニオ・ロレンソが演じる現実主義者は、その二つの立場の間に存在している)

フランス：1985 年「プリウール大尉事件」

男性名詞の le capitaine が「妊娠した(enteinte[女性])」

当時のシラク首相による「プリウール大尉事件」に関するコミュニケ：

6) La capitana está actualmente encinta y el acuerdo preveía que en estas circunstancias ella podía ser repatriada a París. (プリウール大尉は現在妊娠中であり、この状況では協定でパリへの帰還が許される見込みである。)

7) Le capitaine Prieur est actuellement enceinte et l'accord prévoyait que dans ces circonstances, elle pouvait être rapatriée à Paris. (le capitaine 以外は、すべて「女性」)

冠詞を変えるのは強い抵抗。形容詞を指示対象の性に一致させて、女性形にするのは簡単である。

8) Mon professeur est gentille. (私の先生[男性] は親切だ[女性] (口頭で))

9) ...mais le premier ministre n'est pas vraiment inquiète...(FR3, 1991) (首相[男性] は、それほど心配していない[女性] ...) (Khaznadar:1993 より)

4.2. 照応の問題

文法上の性の機能：テキストの一貫性を保証

冠詞や形容詞や過去分詞の一致は、情報という観点からすると余剰な付け足しにすぎない場合も多いが、どの名詞を修飾しているのかを明示して曖昧さを取り除く働きをする場合もある。

照応：テキストの一貫性にとってもっとも重要な役割。

カスティーリャ語では、代名詞のないゼロ照応がよく行われるが、フランス語は代名詞の使用は義務的。人称代名詞の使用のルールが破綻するとテキスト内世界の独立性が失われ、外界の情報の助けを借りなければ、テキストを理解することができない状況におちいる。ところが、フランス語において、指示対象の性に一致することがもっとも容易なのは、照応表現である。

フランス語・1977年2月9日の条例：

10) Le français nous est enseigné par une dame. Nous aimons beaucoup ce professeur. Mais il (elle) va nous quitter. (フランス語は女の人[女性] に教えてもらっている。私たちはこの先生[男性] が大好きだ。しかし、彼 [彼女]はもうすぐいなくなる、)

11) El francés nos es enseñado por una dama. Amamos mucho a esta profesora. Pero (ella) nos va a dejar.

12) Quand vers minuit, samedi 27 novembre, Helen Clark, a enfin ouvert sa porte aux caméras de télévision qui attendaient depuis des heures sous une pluie diluvienne, le futur premier ministre s'est excusé d'avoir mis si longtemps à reconnaître la victoire du Parti travailliste aux élections générales, en expliquant qu'elle était <<quelqu'un de très prudent>>. (Le Monde 30/11/1999)

(11月27日(土)の真夜中ごろ、ヘレン・クラークは、大雨の中何時間も待っていたテレビカメラに対して、やっと扉を開いた。次の首相[男性]は労働党の勝利を確認するのに長時間かかったことを謝り[男性]、彼女はとてもしんやかな人間なのだと説明した。)

13) Malheureusement, le HCR est toujours utile. Et son patron actuel, Sadako Ogata, estime que le cinquantième anniversaire «n'est pas une occasion de réjouissance». Après une décennie à la tête du HCR, la Japonaise s'apprête à passer... (Le Figaro 16/12/2000) (不幸なことに、HCRはいつも必要だ。現在の所長[男性]の緒方貞子は、50周年記念日は「喜びの日ではない」と思っている。10年間HCRの長の職にあったのち、その日本人[女性]は…)

人称代名詞はほぼ例外なく、指示対象の性に一致して用いられる。Boel (1976) や Khaznadar(1993)。

14) Mort du poète italien Margherita Guidaci. Le poète italien Margherita guidacchi est mort. (Le Monde, 92) (イタリア人[男性]の詩人[男性] M. G.の死。イタリア人[男性]の詩人[男性] M. G. が亡くなった。)

15) Le premier ministre a dit...il a parlé de ... si l'on peut le croire... (首相[男性] は言った ... 彼[男性] は話した ... 彼[男性] を信じるとすれば)

、フランス語の性の機能と特徴 ; 「名詞には性がある」という意識の強さと、しかし、性別は指示対象を知る上で欠かせない情報であり、指示対象の性がわからないと落ち着かない。一般にフランス語は明晰な言語であるといわれるが、この文法上の性の不一致とフランス語の明晰性との整合性はどうか説明されるのだろうか。

16) ...es que yo no era solamente diputado, ... (MUNDO, 1970/1/10) (というのは、私は代議士[男性形] というだけではなくて...)

17) Una mujer vieja y enferma, jefe del Gobierno israel.... (MUNDO, 1972/6/17) (イスラエル政府の最高位[男性形]、一人の年老いた病気の女性)

18) La canceller gritó a Yutaka Kawashima en plena conferencia de prensa. (*International Press* semanario en español, 2001/5/19) (政府高官[女性] は記者会見の最中に川島豊に怒鳴った。)

19) La soldado española Patricia Cipritia, del cuerpo de paracaidistas, contempla las zonas inundadas en un vuelo de reconocimiento en helicóptero. (*LA VANGUARDIA*, 2000/3//8) (パラシュート部隊のスペイン人兵士[女性] パトリシア・シプリティアは、ヘリコプターでの偵察飛行において浸水した地域を眺める。)

5.3 両言語の比較

統語的一致が問題なくすすむかどうかは両言語間の大きな相違点である。

フランス語 :

文法上の性の機能の崩壊

アカデミー・フランセーズ : 規範を重んじるアカデミーとそれを支持し「言語保守主義に傾倒し、社会的エリートの言語使用を尊重する長い伝統による」 Pastre (1997: 371) 「フランス人は言語の規範を重んじる」 (Yaguello: 1998: 136)。ある言語変化に政府が条例を出すなどして、「変化を認める」(新たな規範を作っていく)ことで、規範から逸脱しない「正統なフランス語」, 「正しいフランス語」を要求する点は、スペインのカスティーリャ語とは大きく異なる。

カスティーリャ語 :

日常的な使用の中から生まれた「女性冠詞 + 男性形」 形態的一致

アカデミーの主張がきっかけであったが、その後、非性差別言語使用という目的で勧められていく。

6. 女性化の成果と展望

カスティーリャ語 : 辞書において語の例示のために女性形が使われ始めている。

21) ingeniera química" (SALAMANCA) (化学技師[女性])

23) Denunció malos tratos ante la juez de instrucción" (CLAVE). (予審判事[女性] _の前で虐待を訴えた)

24) Très populaire dans les sondages qui la désignent comme un premier ministre idéal, mais supportrice déclarée de M. Koizumi pendant la campagne électorale, Mme Tanaka prend la tête du ministère des affaires étrangères. Agée de cinquante-sept ans, députée depuis huit ans, la fille unique de l'ancien premier ministre Kakuei Tanaka,...(Le Monde, 2001/4/27) (世論調査では、理想的な首相[男性] として大変人気がある[女性] のだが、選挙期間中は小泉氏の支持者[女性] であった、田中氏[女性] は外務省のトップの地位についた .57 才[女性] 、8 年前から国会議員[女性] である、田中角栄元首相の長女は…) primera ministra (カステイーリャ語)

性は何のためにあるか？ (機能主義：言語の機能はコミュニケーションである):

Martinet: コミュニケーションの中で何の役に立つのかという機能的な説明は成功しない。

Sapir: 性：たまたま生じたカテゴリー. forme は残る . 偶然に生じただけの話で意味には関係がない .

言語学者：forme vide, arbitraire, Illogique, sémantiquement immotivé, éventuellement génératrice d'invertissements symboliques ultérieurs mais non primitivement signifiante.

cathégorisation の問題・冗長性の問題・緊密性の問題?

「性」の signifié の生成仮説 (モティベーションがない言語ほど意味を探そうとする)

5. 様々な言語における性 (星の王子様の翻訳における花ときつね)

<http://www.kyoto-su.ac.jp/~hiratuka/essays/petit-prince.html>

イタリア語 (il fiore, la volpe), スペイン語, ギリシャ語, ロシア語

(フランス語) J'appris bien vite à mieux connaître cette fleur.

(イタリア語) Imparai ben presto a conoscere meglio questo fiore.

(フランス語) Et elle, qui avait travaillé avec tant de précision, dit en bâillant:

(イタリア語) E lui che aveva lavorato con tanta precisione, disse sbadigliando:

(フランス語) - Que vous êtes belle !

(イタリア語) "Come sei bello !"

(フランス語) C'est alors qu'apparut le renard:

(イタリア語) In quel momento apparve la volpe.

(フランス語) Je ne suis pas apprivoisé.

(イタリア語) “non sono addomesticata.”

(フランス語) Je serai pour toi unique au monde...

(イタリア語) io sarò per te unica al mondo.

(フランス語) – Qui es-tu ? dit le petit prince. Tu es bien joli...

(イタリア語) “Chi sei ?” domandò il piccolo principe, “sei molto carino...”

(ポルトガル語) – Quem és tu ? perguntou o príncipezinho. Tu és bem bonita...

(カタロニア語) – Qui ets ? – digué el petit príncep – ets força bonica.

(1) Mon ami le renard, me dit-il...

(2) Moi, je suis bien content d'avoir eu un ami renard...

(イタリア語) Il mio amico la volpe, mi disse...

(イタリア語) Io, io sono molto contento d'aver avuto un amico volpe...

(フランス語) – Qui es-tu ? dit le petit prince. Tu es bien joli...

(イタリア語) “Chi sei ?” domandò il piccolo principe, “sei molto carino...”

(ポルトガル語) Minha amiga raposa me disse...

(ポルトガル語) Eu estou muito contente de ter tido a raposa por amiga...

(カタロニア語) La meva amiga, la guineu, em deia...

(カタロニア語) Jo estic molt content d'haver tingut una guineu amiga meva...

(ポルトガル語) Tu és bem bonita...

(カタロニア語) ets força bonica.